

# 耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。ゴールデンウィークが待ち遠しい季節になりました。でも、朝晩は冷え込む日もあります。平成最後の月。くれぐれもご自愛ください。

日常生活の中に登場する仏教用語をお伝えしているかわら版。少しでも読者の皆さんのお役に立てば幸いです。

新年度になり、就職転勤、入学や転校で新たな生活を始めた人も多いと思います。新しい同僚や新しい友人との出会い、新しい世界の始まりです。

この「世界」も仏教用語です。一昨年十月のかわら版でお伝えしました。

「世界」という言葉は英語の「ワールド」の日本語訳として用いられるので、これが仏教用語だとはなかなか気づきません。

仏教では「ひとりの人間にはひとつの世界がある」と教えます。一人ひとりに世界があるというのです。「自我」「自分」というものを中心(国王)として、見渡す限りを自分の世界(領土)と考え、何でも思い通りにした

い、好きにしたいと、「欲」や「執着」に囚われます。

自分に関係の深いもの、自分が好むものを近くに置き、関係の浅いもの、自分が嫌いなものを遠くに置くという「自我の遠近法」で支配された「世界」です。

誰もが同様に一人ひとりの「世界」があること、その「世界」に囚われていることを理解していれば、日頃の人間関係も変わってきますそうですね。

「自分」の「世界」の「欲」や「執着」に囚われれば、別の「世界」を持つ他人が納得するはずがありません。「世間(せけん)」は難しいですね。

この「世間」も仏教用語です。「世間体が悪い」「世間に顔向けができない」「世間の物笑いの種になる」などの使い方がさまざま。「世の中」「社会」という意味で使われています。

「世界」の本来の意味から「世間」を考えると、一人ひとりが持っている「世界」と「世界」の「間」ということです。

「世間体が悪い」とは、自分の価値観や判断基準で判断しているから「世間体が悪い」ので

す。他の人の「世界」からの見られ方を自分の「世界」の価値観や判断基準で相手の想像しているわけですから、ずいぶん自分の「欲」や「執着」に囚われているとも言えますね。

「世間」という仏教用語に「出」をつけて「出世間(しゅっせけん)」。これも仏教用語です。自分の「欲」や「執着」に囚われる「世間」感から解放されて、「世間」を越えた「世界」、すなわち仏や菩薩の覚った境地のような「世界」を「出世間」と表現するようです。

一昨年の九月には「出世」という言葉もご紹介しました。世の中や「世間」を超越し、覚りの境地に至ることが「出世間」「世に出る」「出世」と言います。

そういう人は、道理をわきまえ、「欲」や「執着」に囚われない、感謝と謙虚の気持ちに満ちた人でしょう。そういう人になりました。

かわら版も「世間体」を気にすることなく頑張ります。それでは皆さん、また来月お会いしましょう。

※

耕平

## 大塚耕平の仏教シリーズ好評販売中!

新刊  
お遍路さん必携  
一四国霊場と般若心経一  
大法輪閣 / 2017年



仏教通史 弘法さんかわら版「弘法さんかわら版」講座 一弘法大師の生涯と覚王山 大法輪閣 / 2015年  
仏教とは何か 弘法さんかわら版「弘法さんかわら版」講座 一弘法大師の生涯と覚王山 大法輪閣 / 2008年

ISBN 9784804613994 定価 本体1,300円+税

ISBN 9784804613772 定価 本体1,400円+税

ISBN 9784804612775 定価 本体1,200円+税



かわら版執筆者大塚耕平  
E山「耕庵」 <https://ko-an.blog/>

耕平事務所 ☎0527571955 担当:あさい  
星市千種区覚王山通9-19 覚王山プラザ2F

